

2023年3月期 期末

決算補足説明資料

2023年 05月 12日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証プライム)

- **2023年3月期 期末 連結損益状況**
- **2023年3月期 期末 セグメント別実績**
- **2023年3月期 期末 営業外及び特別損益等**
- **2023年3月期 期末 営業利益分析**
- **2023年3月期 期末 連結財務状況：対前期末**
- **2023年3月期 期末 連結キャッシュ・フローの状況**
- **2024年3月期 通期業績予想**

2023年3月期 期末 連結損益状況



	2022年3月期 実績		2023年3月期 実績				2023年3月期通期予想 (2/10公表)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前期比		金額 (百万円)	達成率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	115,940	100.0	137,692	100.0	+21,753	+ 18.8	132,000	104.3
営業利益	2,183	+ 1.9	1,321	+ 1.0	▲862	▲ 39.5	500	264.2
経常利益	2,584	+ 2.2	1,490	+ 1.1	▲1,094	▲ 42.3	300	496.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,009	+ 0.9	▲907	▲ 0.7	▲1,915	-	▲2,600	-

● 2023年3月期 期末業績概要（対前期比）

- 売上高: 半導体不足及びロシア・ウクライナ問題等によるサプライチェーンの混乱、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う減産からの回復及び円安による為替換算影響により増収。
- 営業利益: 材料費や物流コストの高騰、インフレ及び人材確保難による人件費の上昇、資源価格上昇を背景とする光熱費の高騰による固定費の増加に対して、下期以降価格転嫁が進むも減益。
- 経常利益: 減益となるも円安に伴う為替差益が営業外損失を補い、1,490百万円の経常利益。
- 純利益: 投資有価証券売却益を計上するも、特別損失として損害賠償損失引当金繰入額及び製品保証引当金繰入額等を計上したことにより純損失。

● 為替レート

損益換算レート (単位:円)	2022年3月期 平均レート	2023年3月期 平均レート	変動率
ドル	109.8	131.4	+20%
ユーロ	129.9	138.0	+6%
メキシコペソ	5.4	6.5	+21%
人民元	17.0	19.5	+14%
インドルピー	1.5	1.7	+12%
タイバーツ	3.4	3.8	+9%
ロシアルーブル	1.5	2.0	+34%
ブラジルリアル	20.4	25.5	+25%

2023年3月期 期末 セグメント別実績

	売上高			営業利益		
	2022年3月期	2023年3月期	対前期比 増減	2022年3月期	2023年3月期	対前期比 増減
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)
日本	42,201	44,485	+2,284	1,230	865	▲365
北南米	31,683	42,107	+10,424	▲1,729	▲3,928	▲2,199
欧州	20,973	24,353	+3,380	25	460	+435
中国	20,146	20,572	+426	1,499	1,240	▲259
アジア	19,940	25,735	+5,795	1,851	2,096	+245
連結調整	▲19,004	▲19,560	▲556	▲694	587	+1,281
合計	115,940	137,692	+21,753	2,183	1,321	▲862

● 2023年3月期 地域別業績のトピックス (対前期比)

- 日本【増収・減益】 半導体不足の解消が徐々に進んだことに加え海外売上に対する為替影響により増収。利益面は下期以降価格転嫁が進み、回復基調となるも、経済活動の正常化に合わせた活動再開により前期から固定費を増加させたことで減益。
- 北南米【増収・営業赤字】 半導体不足に伴う客先減産からは回復傾向及び円安による換算換算影響により大幅増収。利益面は物流網の混乱、輸送費の高騰、材料費を含むインフレ、人員確保難による人件費高騰等による急激な固定費の増加に対し価格転嫁が遅れたことに加え、北米における生産混乱に伴う固定費の悪化影響等により営業赤字はさらに拡大。
- 欧州【増収・増益】 半導体不足、ロシア・ウクライナ問題によるサプライチェーンの混乱を受けるも為替換算影響、下期以降の生産回復及び価格転嫁により増収。利益面は樹脂材料費の高騰、インフレ及び人材確保難を背景とする人件費の上昇及び光熱費等の生産費の高騰等による急激な固定費の悪化に対し、価格転嫁の成果により利益率も改善し、増益。
- 中国【増収・減益】 ゼロコロナ政策に伴うロックダウンにより4月から5月にかけて生産減となるもその後挽回し、円安による為替換算影響も補い通期では増収。利益面は第3四半期の生産回復及び人件費抑制等の固定費コントロールを通じて回復傾向となったものの、上期における生産減の影響が大きく、減益。
- アジア【増収・増益】 為替影響に加え新型コロナウイルス感染症の拡大からの生産挽回による増産により増収。利益面は材料費やエネルギーコスト高騰等の影響は受けるも、増収効果により増益。

2023年3月期 期末 営業外及び特別損益等

(増減額の符号は対利益符号)

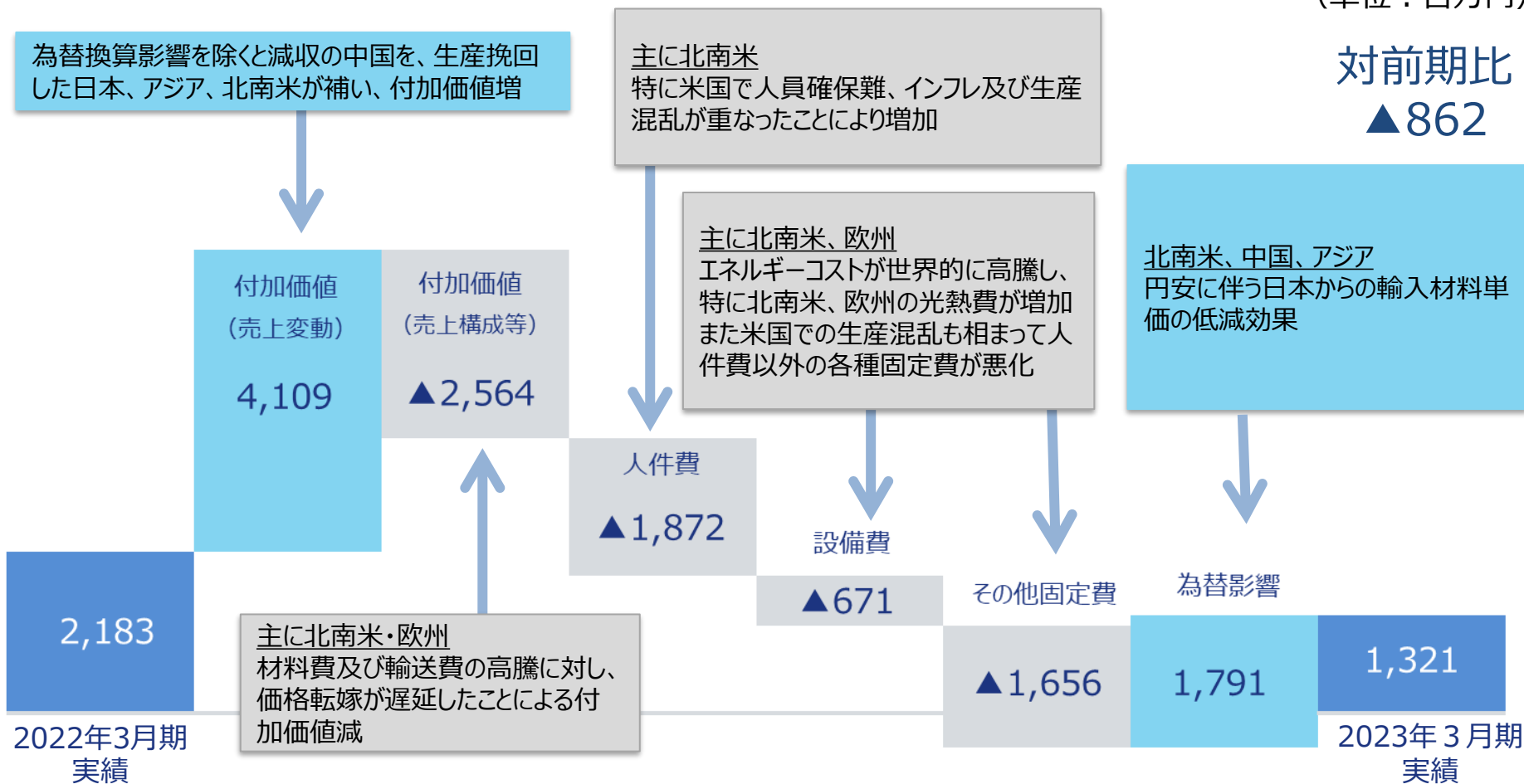
連 結		2022年3月期 実績	2023年3月期 実績		主な増減要因 (金額は百万円)	
			金額 (百万円)	対前期比		
		金額 (百万円)		増減額 (百万円)	増減率 (%)	
営業利益		2,183	1,321	▲ 862	▲ 39.5	
営業外 損益	営業外収益	1,078	1,098	+ 20		為替差益の減少▲88
	営業外費用	676	929	▲ 253		支払利息及び手数料の増加▲379
経常利益		2,584	1,490	▲ 1,094	▲ 42.3	
特別利益		843	1,911	+ 1,069		投資有価証券売却益+1,582 (前期 +53、当期 +1,635)
特別損失		235	1,223	▲ 988		製品保証引当金繰入額▲484 (前期 発生なし、当期 ▲484) 損害賠償損失引当金繰入額▲329 (前期 発生なし、当期 ▲329) 特別退職金▲260 (前期 発生なし、当期 ▲260)
税引前当期純利益		3,191	2,178	▲ 1,014	▲ 31.8	
法人税等		1,635	2,456	▲ 820		
非支配株主利益		548	629	▲ 81		
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,009	▲907	▲ 1,915	-	

2023年3月期 期末 営業利益分析

円安による為替効果及び生産回復に伴う増収の一方で材料費、輸送費の高騰、特に北米の人員不足及びインフレに伴う人件費高騰、生産混乱による固定費増加により減益。

(単位：百万円)

対前期比
▲862



注：付加価値（売上変動）＝連結全体の売上増減（為替補正後）×前期付加価値率（為替補正後）

2023年3月期 期末 連結財務状況：対前期末

連 結		2022年3月期末		2023年3月期			
		実績 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	主な増減要因 (百万円)
資 産	流動資産	53,485	55.5	56,555	58.1	+ 3,069	総資産： +843 増加 ① 現預金 ▲567 ② 営業債権 +271 ③ 棚卸資産 +2,279 ④ 有形固定資産 +1,847 ⑤ その他投資有価証券 ▲4,531
	固定資産	42,952	44.5	40,725	41.9	▲ 2,226	
	資産合計	96,437	100.0	97,280	100.0	+ 843	
負 債	流動負債	36,863	38.2	39,693	40.8	+ 2,830	負債総額： +2,614 増加 ⑥ 営業債務 ▲257 ⑦ 短期借入金 ▲674 ⑧ 未払金 +1,083 ⑨ 製品保証引当金 +475 ⑩ 流動負債その他 +1,103 ⑪ 長期借入金 +753 ⑫ 損害賠償損失引当金 +329
	固定負債	17,891	18.6	17,675	18.2	▲ 216	
	負債合計	54,754	56.8	57,369	59.0	+ 2,614	
	純資産合計	41,682	43.2	39,911	41.0	▲ 1,771	
負債純資産合計		96,437	100.0	97,280	100.0	+ 843	純資産： ▲1,771 減少 ⑬ 利益剰余金 ▲1,817 ⑭ 有価証券評価差額金 ▲3,022 ⑮ 為替換算調整勘定 +1,981

(注1) D/E レシオ・・・前期末 0.74 → 当期末 0.78

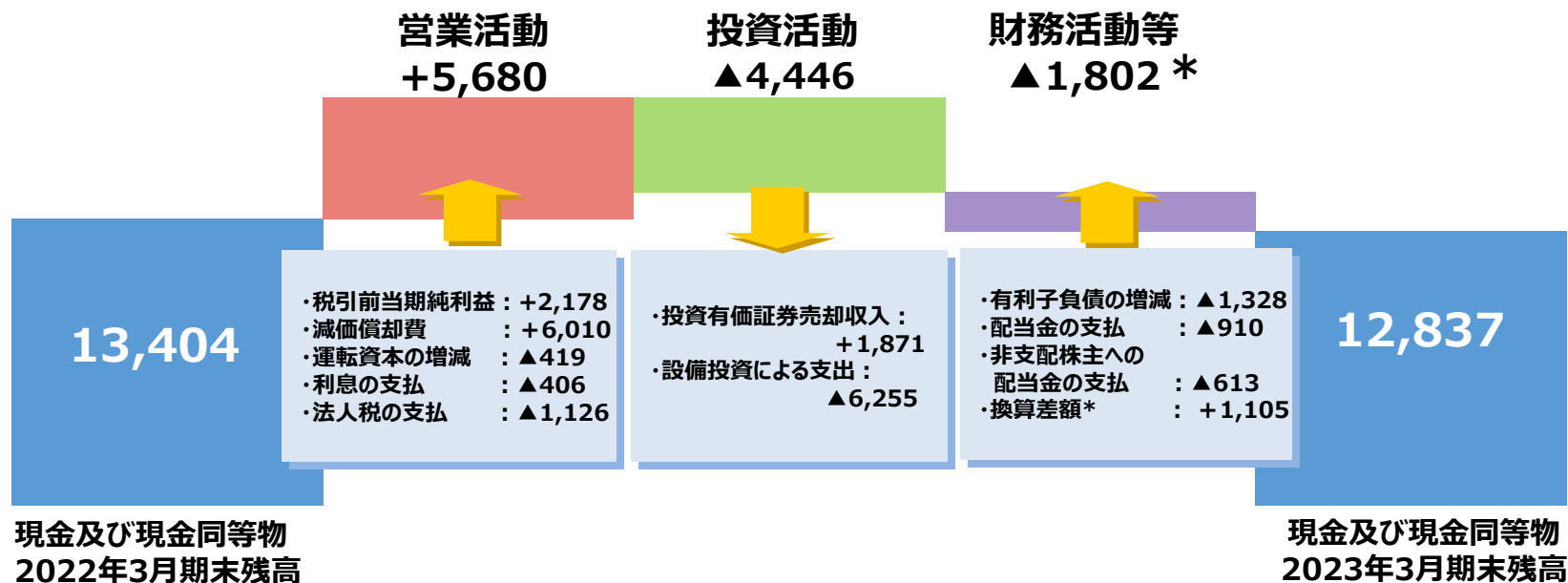
(注2) 自己資本比率・・・前期末 40.1 → 当期末 37.5

	前期末	当期末
①有利子負債	28,677	28,660
②自己資本	38,643	36,527
①/②	0.74	0.78

2023年3月期 期末 連結キャッシュ・フローの状況

● 2023年3月期 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



* 現金及び現金同等物に係る換算差額 (+1,105百万円) を財務活動に含めております。

● 設備投資/減価償却の状況

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	
		実績	対前年同期
設備投資額	5,568	6,255	+687
減価償却費	5,245	6,010	+765

連結	2023年3月期 実績		2024年3月期 業績予想	
	通期 (百万円)	通期 (百万円)	対前期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	137,692	146,000	+8,308	+6.0%
営業利益 【営業利益率】	1,321 +1.0%	4,000 +2.7%	+2,679	+202.8%
経常利益 【経常利益率】	1,490 +1.1%	3,200 +2.2%	+1,710	+114.7%
当期純利益(*) 【当期純利益率】	▲907 ▲0.7%	1,400 +1.0%	+2,307	—
一株あたり純利益(円)	▲25.12	38.78	+63.90	—
配当(円)	25.0	—	—	—

*親会社株主に帰属する当期純利益

(注) 2024年3月期の配当予想額につきましては、現時点では未定としております。配当予想の開示が可能となった段階で公表いたします。

● 2024年3月期業績予想の想定レート

連結	2023年3月期 実績		2024年3月期 業績予想	
	通期レート (円)	通期レート (円)	対前期	
			増減額 (円)	増減率 (%)
米ドル	131.4	125.0	▲ 6.4	▲ 4.9%
ユーロ	138.0	140.0	2.0	+1.4%

このプレゼンテーションで述べられている三櫻工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。